

次期開催地より

第56回全道へき地複式教育研究空知大会

豊かな実りの大地、空知でお会いしましょう！

第56回全道へき地複式教育研究大会空知大会実行委員長 天井 淑子

平成19年度に空知管内で、第56回全道へき地複式教育研究大会を開催する機会を得ましたことを大変うれしく思います。

空知での全道大会は平成5年以来ですが、学校をめぐる社会・地域の変化もますます激しく、また、速く、仲間とともに学びあう必然性が増しているところです。

本年度はプレ大会として9月～11月に、深川、芦別、新十津川、月形、美唄、三笠、夕張、長沼、岩見沢の6市3町の会場で研究会を行いました。活発な研究協議がなされ、本大会へ向けて更に取り組むべきこと、深めるべき課題等がより明らかになりました。会場校の先生たちが開催日の異なる学校の研究会に積極的な姿勢で互いに参加する姿が見られ、分科会が同日に行われる本大会ではできないプレ研のよさを感じました。そして管内はもとより、管外からも多数おいでいただき、瞳を輝かせて学ぶ子どもたちの姿を見ていただき、また貴重なご示唆をいた

だいたことで、本大会を成功させたい思いをいっそう強くしております。

第7次長期5ヵ年計画の4年次目、実践検証整理期の最初の年に当たります。第55回根室大会の成果と課題を受け止め、たくましく学び、育つ子どもたちの姿を見ていただこうと空知へき複連の総力をあげ取り組んでいます。

本大会は、9月20日（木）岩見沢市で全体会、21日（金）各会場校にて分科会を行います。全道各地よりお集まりの皆様とともにへき地複式教育を熱く語り合い、激動の中にも展望を見出す有意義な大会にしていきたいと思えます。あわせて、空知の豊かな秋の実り、自然や温泉等も楽しんでいただきたいと思います。

来年、第56回全道へき地複式教育研究大会の会場、空知の皆様をお待ちしております。